

第1回松山空港将来構想検討会 概要

【日時】 令和6年7月18日(木) 14:30～16:20

【会場】 愛媛県議会議事堂 農林水産・建設委員会室

【出席者】 別添のとおり

1 主な内容について

- 松山空港将来構想検討会について 【資料1】
事務局から開催目的や今後のスケジュールの説明
- 航空・空港政策の基礎知識と直近の政策のご紹介 【資料2】
加藤委員長から国内の航空・空港政策の枠組みや直近の政策、話題の説明
- 松山空港の現状と課題について 【資料3】
事務局から松山空港の現状を中心に説明

2 今後のスケジュール

今年度中のとりまとめを目指し、全4回程度の検討会を開催。今後、第1回検討会の委員からのコメントも踏まえ、関係各所からヒアリングを行い、第2回検討会に向けて松山空港の現状と課題について、分析を深化させる。第2回検討会は9月上旬開催で調整。

《出席者からの主な意見》

- ・全国的にビジネスだけでなく、観光客も減っており、国内線の維持が厳しくなっていることが去年から今年にかけての課題と聞いているので、松山空港はどうか調べてもらいたい。
- ・(全国的な話として)カーボンニュートラルの方向性は間違っていないと思うが SAF となると課題はあると思う。一方で期待もある。
- ・松山空港は愛媛らしさを前面に出したテナントづくりを心がけており、空ビルは健全経営。立地的にも優位で国内線も強い。国際線も県が中心となった誘致活動の成果で非常に伸びているし、まだまだ観光ポテンシャルがあると思う。課題としては、人手不足や路線誘致のノウハウや体制、駐車場混雑緩和が挙げられ、空港の将来を考えると路線誘致や滑走路・駐車場などインフラを含めた経営一体化も一つの考え方だと思っている。
- ・消費単価などのデータについて大切なのは、空港を使って観光政策・地域政策として何を指すかということ。観光でも人手不足が深刻化しているため、とにかく誘客数を増やすという発想よりも、きちんとお金を落としてもらい代わりに質の高い観光を提供できるようにしたいところ。そのために空港と地域の関係者がどう連携するかが大切。
- ・訪日外国人の入出国空港について、自県空港にしなければならないというようなこだわりは持ちすぎない方が、色々なところを見てまわりたい旅客にとってはいい。